

せんぼ通信 No.109

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「大内宿」

下郷町大内宿、初めて行ったのは50年前、「ここは昔の宿場だった」と夫。こんな山奥の隠れ宿みたいな所が？…と、一瞬思ったけど、「会津西街道」・会津若松と日光今市を結ぶ街道で、大内峠を超えての宿場でした。その後、国の保存地域に指定され観光地に。小さな駐車場ができ、軒先にとち餅や山菜などが並ぶようになり、中高年の人たちが郷愁を求めて訪れるのかなあ…と。が、今年30年ぶりに行きビックリ。大きな駐車場ときれいなトイレ…キラキラしたお土産やかき氷…。そして、若い人・子ども・外国人の観光客が道いっぱい歩いていて…。

「行く河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず…」(方丈記)を思い出しました。

「来らったなし」と「ウエルカム」が混ざっても…「とち餅」から「キラキラ土産」に変わっても…400年続く家並みの大内宿は、昔も今も変わらず旅人を待っています。

(ニュースで1位ハワイアンズ121万人…3位大内宿67万人)

「売らない・貸さない・壊さない」の三原則で保存されているそうです。

災害などありませんように…。

病院で採血のベテラン職員さん、手早さと流れるような手の動きに見とれているうちに終了…。チクリと痛みもなく感心していたら、「どうしました？大丈夫ですか？」

採血の仕方も進化したなと思いました。「ふいふいふ…そうだったのですね」笑いながら、使用後の採血針を手に「ここをプチッと押すと針が自動で引っ込むんですよ。昔は注射針が指に刺さったり…」と。本当に針の先は見えなくなっていました。

(注射針のミスから、看護師さんが病気に感染する事故がありました)

あの3cm位の小さな採血針の中に手品のような仕掛けがあった…。私が想像もできないことを、研究する皆さんのおかげで、多くの人たちが守られていて…悲しむことが減っていくのですね。

マリーをなでている男性の後ろ姿…
手の動きが、良かったな…と言っているような
思いが伝わってきて…え？だれ？どちらさま？
店に行ってみると、川曲出身のkちゃんが…
「うちのだんなさんです…かわいい犬ですね」
伝染病にかかり…かわいそうだったの。
「わかってました。せんぼ通信よんでましたので…。
良かったですね…元気になって。車に乗っている
のは3歳の保護犬なんです。沖縄は保護犬が
多いんです…沖縄から空輸できました。保護犬
なので、家族以外の人には慣れなくて…」と。
まあ沖縄から…そういうこともね…。
優しいご家族に迎えられて、幸せなワンちゃんです

秋うらら背から届くる陽もありて



下郷町・観音沼

写真・さち

シラサギの飛びては歩く沼の辺の
風はほのかに初秋のかおり

〒963-1245 郡山市田村町枡山神字千穂128 TEL: 024-975-2415 FAX: 024-975-2466

2023・10・1

遠藤商店

編集: ミサ子 mail:kaikuu-0305@docomo.ne.jp